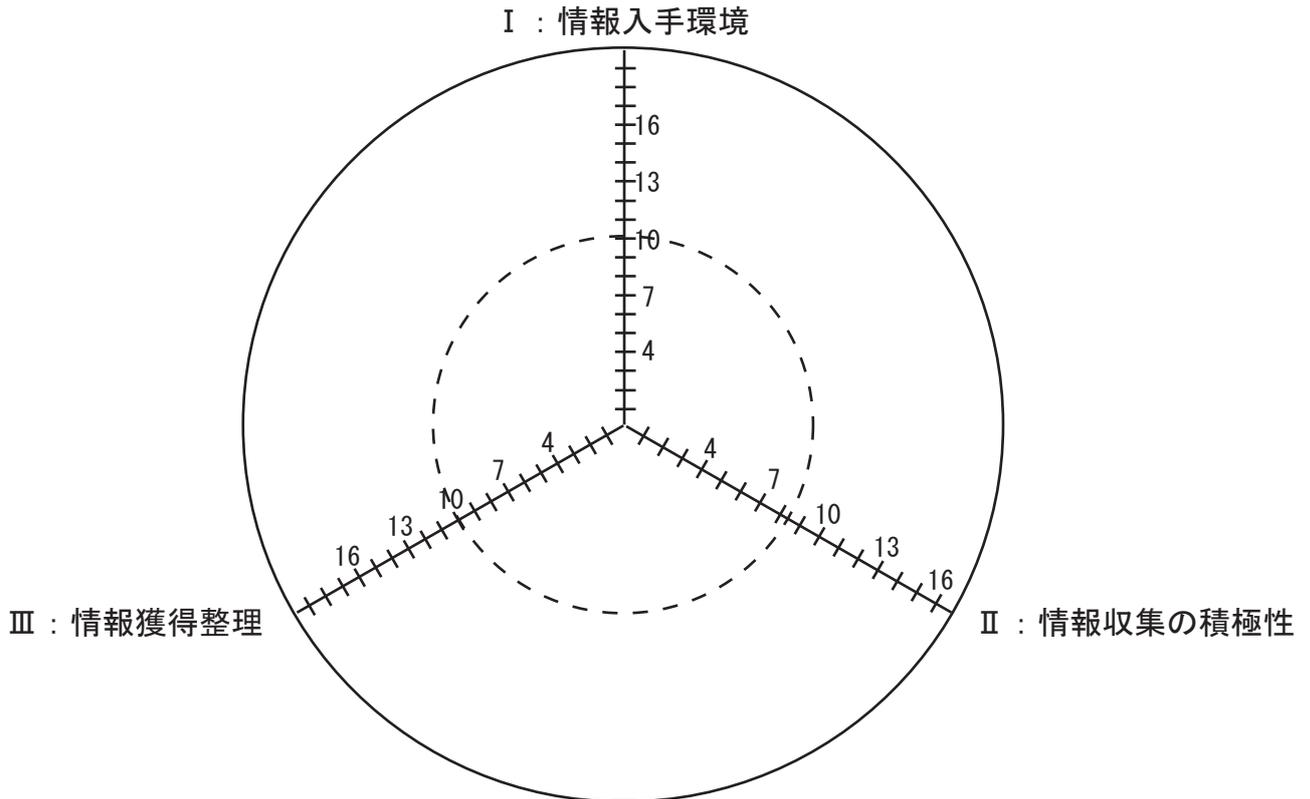


第9回「情報収集のテクニック」



【チェックポイント】

I : 情報入手環境

手軽に入手できる不動産情報は、新聞広告、チラシ、住宅情報誌、インターネットによるものです。そのため、これらの媒体と接する機会が、情報量を左右します。日頃は新聞をとっていない人も、土地探しをしている期間中は定期購読してはいかがでしょうか。億劫がらずに貪欲に情報を入手しましょう。

II : 情報収集の積極性

ある程度の情報は、座して待っていても入ってきますが、多くは自ら積極的に行動しなければ入手できません。紙媒体であれば、見逃していないか隅々まで目を通し、インターネットでは検索項目をいろいろ変更してみるなど、丁寧にかつ意欲的に探す姿勢が大切です。

III : 情報獲得整理

せっかく集めた情報も、整理されていなければいざというときに役立ちません。「エクセル」などの表計算ソフトなどを使う方法もありますが、手軽に持ち歩けるアナログの紙ファイルに整理したほうがはるかに便利です。また、物件情報以外の不動産知識に関しても、プリンターで印刷したものを用意し、時間のあるときにどこでも読めるようにしておきましょう。

【傾向と対策】

※ I ~ III どの項目でも、点数が低いほど土地探しの情報収集関心度が高いという傾向を示唆しています。

不動産に限らず、情報は「収集」→「整理」→「活用」してこそ役立ちます。「収集」は幅広く行い、「整理」は統一を図り、「活用」はいつでも、どこでもできる柔軟性を持たせるのがポイント。いずれもバランスよく行い、不動産情報の場合にはよりスピーディーに進めなくてはなりません。仕事や家事など、やることはいろいろあるでしょうが、人生のビッグイベントですから、家族で役割分担してでもなんとかやり遂げましょう。必ずや報われます。